

関係者評価の結果について

令和6年4月作成
学校法人北邦学園
菊水いちい認定こども園

1 本園の教育目標

教育目標
◎ 思いやりのある子 ◎ 考え工夫する子 ◎ 明るくたくましい子

『評価』の区分
A：成果を上げている。
B：ある程度成果を上げている。
C：もう少し努力が必要である。
D：改善が必要である。

2 令和5年度に重点的に取り組む目標・計画

取り組む目標、計画
① 預かり/2号児保育の工夫（日々の保育、長期休み） ② 環境（ゾーン）の見直しと工夫 ③ 玩具の見直し

3 評価項目の達成及び取組み状況

A:成果を上げている B:ある程度成果を上げている C:もう少し努力が必要である D:改善が必要である

評価項目	取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等 ○良い △意見 ●課題 ☆要望
「教育保育の計画性」について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の建学の精神や当園の教育目標を理解し、日々の保育や行事の立案を行ったことは評価できる。 ・公開保育を機に、全学年の子どもの姿や育ちについて管理職・担任を中心にじっくりと考え、子どもたちが遊びを存分に楽しみ、充実した園生活を送れるよう保育内容や環境を考えたことも評価できる。 ・一方、せっかく工夫した環境が継続されないことがあった。手作りした環境が壊れやすかったり、大々的な準備を必要であることなどが原因である。保育教諭が遊びをきっかけを作ることは良いことだが、その後、子どもたちが自分たちで準備をしたり、発展させていくことができるような環境作りが大事だと考える。 ・季節の変化に応じた環境の構成についても課題がある。四季折々の自然や自然現象を活かしたり取り入れたりした環境について学ぶ必要がある。 	<p>A</p> <p>B</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で教育目標を共通理解し、保育内容や環境の工夫・改善を行っているところがすばらしいです。 ・子どもへの関わりや工夫した環境が、子ども同士の成長につながっていくと、よりよいと思います。 ・コロナがあけ、充実した園生活から卒園までをみてとても良かったと感じています。 Bにした理由としては、発表会での演目内容に他の幼稚園と比べ良く聞く涙が止まらない感動が欲しいと耳にすることが毎年あった為です。(感受性の差もある事なので、記入するか迷いましたが、一応記入しておきました) ・今年度は、公開保育の園として様々な方に日々の取り組みを見てもらう機会となった事と思います。 先生方にはよりいろんな配慮をしてもらいながら、こども達の育ちを助けて頂いた事感謝しております。 ・左記のような遊びの継続はできない時もあったようですが、子ども達からの自発的な考えや言葉はよく聞こえていたように感じたので、それはやはり日々の積み重ねのような気がします。発展させていく力を持っている子たちが多いのではないかと思います。あと少し、日々の活動の中で自然に触れる機会が増えたらなと思います。 ・課題が明確ですので、評価いたします。

		A	
「教育保育の在り方、幼児の対応」 について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> 登園時の視診を大切に、子どもの心身の状態を細やかに把握しようとしたり、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育を進めることを心がけてきたことは評価できる。 個々への対応は評価する一方で、集団への対応については課題としている保育教諭が複数いる。教育保育課程/指導計画を参考に、個と集団のどちらへも目配りや気配り、対応をしていけるよう学ぶ。 ケガやトラブル等が生じた際に、毎日の打ち合わせやヒヤリハットで周知し、全職員で共有し、再発の防止に努めたことも評価できる。 絵本について学び、絵本を活かした保育を展開する中で、保育教諭が言葉を大切にしようとする意識が高くなっていると感じる。子どもへ向けて発する言葉が幼児期にふさわしく、豊かな表現であるよう、学びを続けていく。 	<p>B</p> <p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに寄り添うことと集団としての力を高めていくことが大切ですが、バランスをとるのは難しいことと思います。今後もよりよい対応に向けて頑張っていただけだと思います。 3年間で毎年心から感謝で年度を終えることができています。子どもに寄り添って頂き、先生から、子どもから両方からの話でそれがわかります。ハンデを背負った子どもを登園させることは自分勝手ですが本当に不安だらけでしたが、臨機応変に対応してくれる姿勢に安心へと変わっていきました。 なかなかスムーズにお部屋に入っていく事ができなかつたりするのを待っていてくれたり、様子を見て声をかけてくれたり、ありがたいです。 ケガでお世話になった時は園の先生みんなが知っていてくれて声をかけてもらって安心しました。 課題が明確ですので、評価いたします ○とても丁寧に関わって頂いて、とても安心しています。目配り・気配りは、とても大切だと思うので、今後の対応（変化）に期待しています。 ☆絵本を活かした保育を今度も続けていってほしいです。
「保育者としての資質と能力」 について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> 研修や園内研究などを通して専門的な知識の学びを積み上げているが（インプット）、他者に学びを踏まえて話すこと（アウトプット）には課題がある。 保育教諭一人ひとりが、園の一員であることを自覚し、全員で6学年の子どものお受けしてる意識をもっていることは大変評価できる。特にそれぞれが強み（ピアノ、作り物等）を生かして活躍しているので、今後も継続していく。 保育教諭が互いに認め合い、思いやりをもって関わる姿も評価している。厳しい目ではなく、正しい目で互いに高め合う関係を大切にしていきたい。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> チームとして職員同士が支え合っている様子が伝わってきます。このよい関係を維持していってほしいと思います。 それぞれ先生方の良さが違い、風通しも良いなと雰囲気を感じました。やはり担任の先生しか多くはみれませんが、親として尊敬できるとても良い先生方です。 自分が見聞きした学びの内容を他者へ伝えるという事は簡単ではないなと思います。どの職業でも当てはまるといいますか、時間をかけ、少しずつ意識していけたらと自分も思います。自分の強みをわかってくれる仲間がいて認め合える環境とても素敵だなと思いますし、そういう先生方に見守られている子ども達も幸せだなと思います。 ○園児も先生方も強みを生かし、弱みは助け合い活躍して下さい。

		A	○先生方一人ひとりがとても素敵で大好きです。
<p>「保護者への対応」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から受けた連絡（バス変更等）が職員間で共有されず、子どもや保護者に迷惑をかけることがあった。書面での確認など工夫はしているが、今後の課題である。 ・保育教諭ならではの専門的な知識を踏まえた子どもの成長を伝える、という点は課題があるものの、保護者の方々へは丁寧に関わり、わかりやすく話そうとする意識は十分に持っている。今後は子どもの姿を専門的に捉え、わかりやすく伝えられる技術を身に付けられるよう語彙を増やしたり、話し方を学ぶ。 ・保護者の心配事や不安、不満については受けた職員が対応することはもちろん、管理職へ報告したり相談したりして園全体で共有している。園での出来事全てを、職員一人ひとりが自分事として捉え、考えたり、改善したりしようとする姿勢は今後も続けていく。 	<p>A</p> <p>B</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>A</p>	<p>・保護者の困りを全職員で共有するとともに、自分事として一人ひとりの職員がとらえることができているところがすばらしいです。</p> <p>・連絡事項の確実な共有は信頼関係につながっていくので、今後も工夫して行ってほしいと思います。</p> <p>・左記にもありますが、バスの連絡事項が共有されず子どもに不安な思いをさせるケースを何度か聞いており、私自身もありました。起こった際は細かな対応をして頂けるので安心なのですが、特にバスは近年ニュースなどで不安なことを目にすることもあり、保護者としては起きない前提で利用している為、課題かと感じます。その他は全先生が子どもの名前も覚えてくれており（そう感じてます）、伝えた事も共有して対応して頂いており、感謝しています。</p> <p>・直前の変更の時はよくその場にいる先生に伝えてしまうので反省です。おたよりばさみ、コドモンを活用し、先生方の負担を減らせるように気をつけます。</p> <p>・気になった事はすぐに知らせてくれて安心して通わせてもらっています。</p> <p>・課題は今後達成する事とし、伝える難しさ、共有しなければならない事、大変とは思いますが、文面より努力が素晴らしいです。</p> <p>△先生方には、本当に感謝しかありません。 少し意見を言わせて頂くならば…おむかえの時に廊下や玄関で保護者の方とお話している場面を見かけるのですが、通路をふさぐようにそのままお話を続けていることがあり、こちらが申し訳なくなりながら、道をあけてもらうことが何度かありました。お話を区切れないこともあるかと思いますが、少しこちらにも気にしてもらえたらな…と思う場面があったのでお伝えします。</p>

<p>「地域の自然や社会との関わり」 について 自己評価：C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策中は、公園への園外保育は避けてきたが、5月以降は再開している。 ・近隣には複数の公園があり、それぞれのおおよその遊具は把握しているが、自然物の把握には至っていない。各公園の自然物について調べ、季節ごとの保育に活かしていきたいと考える。 ・年長児と小学生との交流は、小学校への期待を高めると同時に、新たな生活への不安を和らげる良い経験となっている。コロナ対策のために制限していた地域との交流の再開は大変嬉しい。 ・近隣には会社が多くあり、施設内の見学は無理だと思いが、どのような仕事をしているかを伝えることはでき、そうしたことも地域を知るきっかけになると考える。 	<p>A</p> <p>B</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児と小学生の交流は、小学生にとっても、大変有意義なものとなっています。これからも、ぜひお願いします。また、地域の開拓（自然を含めて）はとてもよいことと思います。 ・年長と小学生との交流は親としても不安を少しぬぐう事につながり、子どもの笑顔をみて話をきけて良かったですし、消防署への訪問も学びにつなげる経験でとても良かったと感じました。 ・いちいの村で大自然と触れ合う機会は多く強みの1つなので滞在時間をもっとあればな…とも感じます。（遅バスの関係もあると思いますが…）逆に遠足などはもう少し遊具で遊べる環境でもいいのかと周囲から聞いて感じました。 ・コロナもあり、なかなか活動制限しなければいけない事もあり、今年度から再開できてうれしく思います。園外での活動も増えていく事を期待します。 ・近隣の公園、堤防にて季節を是非感じて頂きたい。 ・弊社でよければ点検時早目に伺い、園児参加型で何か出来れば…。
<p>「研修と研究」について 自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は札私幼の研究大会にて保育を公開し、他法人の多くの先生に保育を見てもらったり、研究発表を通してたくさんの意見やアイデアをいただいたことは大きな学びにつながった。 ・また、今年度の園内研究は一つ一つの言葉の意味についてじっくりと考える機会となり、大変良かったと思う。言葉について考える意識と姿勢は今後も継続していきたい。 ・学園内研修への参加は充実している一方で、外部研修への参加は課題がある。年間予定が示された段階で参加計画を立てるなどの工夫が必要である。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究大会を通して実践してきたことが大きな財産になっていると思います。この学びが、さらに日常の保育に生かされることを期待しています。 ・日常の園生活の中で自宅ではなかなか難しい制作を通じて遊びをして頂き、とても良かったです。その遊びを自宅でもみせてくれていたのは年齢に見合ったことを提案してくれていたと感じました。 ・研修お疲れさまでした。 ・外部研修に当園が実施している件で良くも悪くも課題があると変わるチャンスだと思います。 ○忙しい中での研修、研究は大変だと思います。園や子どもたちのために学びの場を作り、学びを深めて頂いてとても感謝しています。この学びが保育に活かされると思うので…

4 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自 己 評 価	関 係 者 評 価	
	評 価	意 見 等
<p>◎預かり/2号児保育の工夫（日々の保育、長期休み） 自己評価：C</p> <p>*教育時間との差別化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝預かりは曜日ごとに活動内容を変え、登園への意欲につなげられるよう工夫している。しかし、子どもたちの遊びが盛り上がると「活気がある」というより「騒々しい雰囲気」となってしまう、入室を躊躇する姿もある。今後は、雰囲気作りの工夫が課題と考える。 <p>*園バスを利用した園外保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに園外保育（公園）を考えていたが、猛暑のため中止した。ここ数年の気候を考えると屋内施設の利用を踏まえた保育計画が必要である。 <p>*子どものアイデアを生かし、工夫したり発展させながら継続的に取り組む活動を取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう組ならではの保育内容、環境構成を工夫しているが、引き続き取り組む課題である。 ・長期休み期間は遊戯室をパーテーションで仕切り、後方をぶどう組保育室とすることで、継続的な活動を楽しめるようにする。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意欲を高めたり、困りへの対応策を考えたりと、様々な工夫をされてきたところが、とてもよいと思います。 ・1号の為、評価できる程、把握できません。
	☆	<ul style="list-style-type: none"> ・きつとすぐく欲を言えば、ぶどう組のお部屋が存在するといいいんだろうなあとはいいますが、今あるお部屋で最大限配慮されていると思います。ぶどう組の子ども達は平日は家よりも園で過ごす時間が多い子達です。できるだけ安心できる環境でゆったり過ごす事ができるよう、これからも配慮をお願いします。長期のお休みの時だけでも必ずそこにあるお部屋を設定し、「ぶどうさんだけでできる特別」を増やしてあげると、クラスのお友達の少なくなる時期も元気に通えるのではないのでしょうか？
	☆	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ多少の制限はあると思います。どんどん園外へ出てPEZ保育の実施をして頂きたい。
	A	<p>○常に課題を持って、改善点を考えてくださっていることが伝わってきます。どうしてもメリハリのなくなってしまう預かりの時間ですが、先生方がさらに良くしていこうと思ってくれているだけでも、預ける方は安心できます。</p>

◎環境（ゾーン）の見直しと工夫 自己評価：A

- *各ゾーンの子どもの遊びを把握する。
- *遊びへの意欲を引き出せるような環境が整っているか確認する。
- *子どもが遊びを工夫したり発展させたりすることができる準備（教材/教具）がされているか確認する。
- *子どもがじっくりと遊びこめる環境を整える。
 - ・夏期は砂場を中心に、水遊びが盛んになる。そこで、水を生かした遊びを楽しめるよう、砂場に移動可能な水路を作成した。すると、水の流れに興味をもち、水量を変化させたり、速さに着目したりする姿が見られ、試すことを楽しめる場の1つになっている。
 - ・おはなしの森に木製のテーブルを設置した。これまでもベンチに座って絵本を見たり、友達とおしゃべりを楽しんだりする姿はあったが、絵本をテーブルに置き、落ち着いた雰囲気でお話の世界を楽しむことができる環境となった。また、人形やぬいぐるみを座らせてごっこ遊びを楽しむなど、子どもたちが思い思いに生かしているのも大変良いと感じている。
 - ・ホッピーハウスでの遊びを盛り上げようと設置した衣装や装飾品（ヘアゴム等）、カバンや家電が雑に扱われ、また、片付けも不十分になってしまう事が課題となった。そこで、設置する物の数や大きさなどを見直し、子どもが自分たちで場を整えられるようにした。遊びに必要な物を準備したり、作りだすことはもちろん、片付けを終了するところまでが大切な経験であり、学びである。「片付けられる環境」が大変重要だと考える。

◎玩具の見直し 自己評価：C

- *各学年の玩具について、意図を確かめると共に子どもの成長を促す玩具について考える。
 - ・学園の玩具選定基準についての意識が低い。参考にした書籍の内容と合わせ、今一度全職員で確認し、共通理解する必要がある。
 - ・玩具の対象年齢や素材、強度などに対する意識が低い。特に0歳児は口に含むことで様々なことを確認する育ちのため、誤飲の危険については常に意識しなければならない。しかし、異年齢児が共に過ごす場面では2歳児に適している0歳児には適していない（危険がある）物もあり、場の仕切り方や共有する玩具の選定、設置の仕方について改めて検討が必要である。
 - ・保育室の環境構成や玩具の設置については、管理職もしくは担任が中心に考えるものではあるが、そのほかの保育教諭が考えなくてよいわけではない、という意識が全職員に芽生え、様々な職員からたくさんのアイデアが出るようになってきたことは大変評価できる。
 - ・一方、せっかくの良いアイデアも予算の関係上すぐに活かさない場合もある。今後は、職員のアイデアや意見を反映させながら環境構成や玩具等の購入を計画できる流れの構築が必

- A
 - ・遊びには適切な環境が欠かせませんが、子どもたちがじっくりと遊べる環境を構築できたところがすばらしいと思います。
- A
 - ・どの遊びゾーンに行っても楽しそうな姿がみられ、とても良かったです。
ルールを守ってる姿もみられ（くつをぬぐなど…）子どもの表情が自信にみちあふれていました。
- - ・水の流れに興味を持ってその様子をじっくり観察できる環境とっても良いと思います。先生達（人）から教わる事ももちろん多いけど、自分で発見できる感動はまた違った成長を促す気がしています。
- A
 - とても楽しいようで、やぐらやホッピーハウスなど、遊んだ日は、楽しかったことをお話してくれます。
- A
 - ・「遊び」が「学び」となる子どもたちの成長には、玩具は大きな比重を占めていると思います。現状をしっかりと受けとめ、職員の学びについても方向性がでている点は、高く評価することができます。
- B
 - ・詳しくはわかりませんが、年齢によってこんなにも違う遊びなんだなと玩具をみて感じられ良かったです。
幼稚園だからこそある玩具というのが各クラスにあるともっといいなと感じます。

<p>要だと考える。 *専門書等を参考に、手作りの玩具を増やす。 ・0～2歳児クラスを中心に手作り玩具を作成した。手作り玩具は壊れやすく強度面の課題はあるが、手作りならではのぬくもりがあることや、身近な素材や廃材を生かすことができるので、製作費が安価であることが利点と考えている。今後も裁縫や編み物などが得意な職員の強みを生かして手作り玩具を作成していく。</p>	<p>○ B</p>	<p>・保護者としての観点だとなかなか気づけないと思うので今後どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○お部屋の環境が変わっていることがあり、その都度、考えて変えていることがわかりました。</p>
--	---------------------	--

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
<p>預かり/2号児保育の活動内容と環境の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の共有（教育時間と預かり/2号児保育）における課題を明らかにし、預かり/2号児保育ならではの空間作りを行う。 ・長期休み期間のぶどう組を固定し、継続的な活動を楽しめるようにする。 ・長期休み期間の園バスを利用した園外保育を実施する。 	<p>A A ○ A</p>	<p>・今年度の反省を受けての課題の設定、そして課題の解決に向けた具体的な手立てが明確になっている点がとてもよいと思います。</p> <p>・園バス利用した園外保育 夏休みの1号児も参加させたいくらい良いと思います。</p> <p>・特に園バス利用した園外保育は特別な体験になると思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>玩具の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の玩具の状況（種類、個数、状態、）を確認し、子どもの育ちに合っているか、また、望ましい発達を促すものになっているか考える。 ・玩具についての書籍を読んだり、研修に参加して学びを深める。 ・展示会に出向き、様々な玩具を知る。 	<p>A A ○ B</p>	<p>・今年度の反省を受けての課題の設定、そして課題の解決に向けた具体的な手立てが明確になっている点がとてもよいと思います。</p> <p>・幼稚園ならではの玩具があると嬉しいです。</p> <p>・よろしくお願いいたします。</p>

<p>絵本について学び 活かし方を見直す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節、子どもの興味や関心、保育のねらい（願い）に応じた絵本を選び、保育室に置く。 ・言葉のリズムや物語や情景を豊かに表現している言葉を保育に活かす。 	<p>A A ○ A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省を受けての課題の設定、そして課題の解決に向けた具体的な手立てが明確になっている点がとてもよいと思います。 ・よろしく申し上げます。
------------------------------	--	----------------------------	---

2
以上